

# 議員全員協議会会議録

令和7年2月7日

宮 古 市 議 会

## 令和7年2月宮古市議会 議員全員協議会会議録目次

(2月7日)

|           |    |
|-----------|----|
| 議事日程      | 1  |
| 出席議員      | 2  |
| 欠席議員      | 2  |
| 説明のための出席者 | 2  |
| 議会事務局出席者  | 2  |
| 開 会       | 3  |
| 説明事項(1)   | 3  |
| 説明事項(2)   | 5  |
| 散 会       | 11 |

## 宮古市議会議員全員協議会会議録

日 時

令和7年2月7日（金曜日） 午前10時00分

場 所

議事堂 議場



事 件

〔説明事項〕

（１）令和7年度宮古市一般会計及び特別会計当初予算（案）について

（２）令和7年度議会費当初予算（案）について

出席議員（22名）

|     |        |     |        |
|-----|--------|-----|--------|
| 1番  | 佐々木真琴君 | 2番  | 畠山智章君  |
| 3番  | 水木高志君  | 4番  | 山崎高広君  |
| 5番  | 佐藤和美君  | 6番  | 古舘博君   |
| 7番  | 中嶋勝司君  | 8番  | 今村正君   |
| 9番  | 白石雅一君  | 10番 | 木村誠君   |
| 11番 | 西村昭二君  | 12番 | 小島直也君  |
| 13番 | 鳥居晋君   | 14番 | 伊藤清君   |
| 15番 | 高橋秀正君  | 16番 | 工藤小百合君 |
| 17番 | 長門孝則君  | 18番 | 落合久三君  |
| 19番 | 松本尚美君  | 20番 | 田中尚君   |
| 21番 | 竹花邦彦君  | 22番 | 橋本久夫君  |

欠席議員（0名）

なし

---

説明のための出席者

説明事項（1）

|      |       |      |       |
|------|-------|------|-------|
| 市長   | 山本正徳君 | 副市長  | 桐田教男君 |
| 総務部長 | 下島野悟君 | 財政課長 | 田代明博君 |
| 財政係長 | 畑中学君  |      |       |

---

議会事務局出席者

|      |       |    |      |
|------|-------|----|------|
| 事務局長 | 前田正浩  | 次長 | 刈屋巧  |
| 主査   | 南舘亜希子 | 主査 | 吉田奈々 |

## 開 会

午前10時00分 開会

○議長（橋本久夫君）

おはようございます。

ただいまから議員全員協議会を開会いたします。

ただいままでの出席は22名でございます。会議は成立しております。

本日の案件は、説明事項2件となります。

○

<説明事項>（1）令和7年度宮古市一般会計及び特別会計当初予算（案）について

○議長（橋本久夫君）

それでは、説明事項の1、令和7年度宮古市一般会計及び特別会計当初予算（案）について説明をお願いします。

山本市長。

○市長（山本正徳君）

それでは、令和7年度の宮古市の当初予算案について説明をさせていただきます。

2ページを御覧いただきたいと思います。

令和7年度当初予算は、次代を担う人を育てる、地域産業の振興、にぎわいのある中心市街地へ、地域脱炭素の実現と地域内経済循環の拡大の4点を重点事項として、予算の編成を行ったところであります。

3ページを御覧いただきたいと思います。

当初予算の規模は一般会計で349億円となりました。令和6年度と比較いたしまして、13億1,600万円の減額となります。特別会計及び公営企業会計を合わせました総額は532億9,825万9,000円で、令和6年度と比較をいたしまして、17億9,865万円の減額となります。下段のグラフは、一般会計当初予算の推移となっております。

私からの説明は以上とさせていただきます。当初予算案の概要につきましては、総務部長から説明をさせていただきます。

○議長（橋本久夫君）

下島野総務部長。

○総務部長（下島野 悟君）

それでは、私のほうから、当初予算案の概要について説明をさせていただきます。

○議長（橋本久夫君）

部長、着座で。

○総務部長（下島野 悟君）

4ページを御覧願います。

歳入について御説明いたします。初めに、市税につきましては、予算額は54億1,991万4,000円です。前年度と比較して、1億1,767万1,000円の増額となります。個人市民税は、定額減税の終了による増額を見込み、固定資産税は、減価償却の進行などにより減額を見込んでおります。次に、地方交付税は122億6,900万円です。前年度と比較して、6億9,100万円の増額となります。次に、市債は25億4,050万円です。前年度と比較して、10億4,230万円の減額としております。新規借入れ額を抑え、交付税措置率が高い地方債を活用しております。なお、令和7年度の市債の発行額と償還額との均衡を示すプライマリーバランスは黒字となっております。

5 ページを御覧願います。

歳出について御説明いたします。投資的経費は37億5,420万5,000円です。前年度と比較して、21億1,373万3,000円の減額となります。令和7年度は旧キャトルの建物解体や八木沢・宮古短大駅の機能強化などを実施いたします。公債費は43億7,148万円です。前年度と比較して、1億9,863万6,000円の増額となります。復興関連事業などで借入れた地方債の償還開始などにより増額となっております。

6 ページを御覧願います。

重点事業について御説明いたします。次代を担う人を育てる主な事業です。子供の成長に応じた子育て支援として、幼稚園、保育所の利用料の無償化、在宅子育て世帯への支援金、小中学生の学校給食費の完全無償化の取組を計上しております。また、子供の学びを応援する進学希望者への奨学金の貸付け、結婚支援を行う出会いの場の創出・新生活への支援をそれぞれ計上しております。生殖補助医療費の助成は、保険適用外の先進医療を新たに助成対象に加え、540万円を計上しております。元気な地域づくり補助金は、今年度で地域自治区を廃止することに伴い、後継の補助金を創設し、住民主体のイベント、地域間交流などを支援するものでございます。

7 ページを御覧願います。

地域産業の振興の主な事業です。ジビエ処理加工施設は、1,300万円を計上し、施設整備に向けた実施設計を行います。また、ウニの蓄養や第一次産業の担い手育成の取組をそれぞれ計上しております。外国クルーズ船の受入れに向け、4,030万円を計上しております。過去最多の13回の寄港を予定しております。企業誘致は、企業立地補助金の新設1社、増設1社を予定しており、2億2,205万円を計上しております。

8 ページを御覧願います。

にぎわいのある中心市街地への主な事業です。旧キャトルの建物解体は3億3,893万4,000円を計上しております。令和7年度から8年度までの2か年で実施いたします。宮古駅前の再整備は、市民参画により基本計画を策定いたします。八木沢・宮古短大駅は、踏切の設置など、利便性の向上を図るため、3億2,250万円を計上しております。中学生にフリー定期券を交付する実証実験は、新たにJ R山田線を追加し、350万円を計上いたしました。

9 ページを御覧願います。

地域脱炭素の実現と地域内経済循環の拡大の主な事業です。省エネ化の推進に向けて、無料省エネ診断や住宅高効率機器更新への補助、住宅断熱リフォーム補助を行います。創エネ、蓄エネは2億6,056万円を計上いたしました。住宅等太陽光発電設備・蓄電池導入への補助などにより、導入拡大を進めます。EV化の推進は、電気自動車導入への補助や、公用車のEV車両への更新を進めてまいります。

10ページを御覧願います。

その他の主な事業についてです。6月にオープンする災害資料伝承館の管理運営を行うため、2,568万円を計上しております。浸水被害の軽減を図るため、排水ポンプ車の導入費用として6,490万円を計上いたしました。令和7年度は、新市誕生から20年を迎えます。20周年記念事業費として588万5,000円を計上いたしました。

説明は以上となります。当初予算案の詳細は別紙1に記載しております。後ほど御覧いただきたいと思います。以上でございます。

○議長（橋本久夫君）

説明が終わりました。

この件は、後日、予算特別委員会で審査する案件です。何か、このことに関して質問があれば、挙手を願います。

よろしいですか。はい。

では、この件はこれで終わりとします。

説明員は退室してください。大変お疲れさまでした。

〔説明員退室〕

---

<説明事項> (2) 令和7年度議会費当初予算(案)について

○議長(橋本久夫君)

それでは次に、説明事項の2、令和7年度議会費当初予算(案)について説明をお願いします。

前田事務局長。

○議会事務局長(前田正浩君)

それでは、令和7年度議会費当初予算を説明いたします。タブレットの資料を御覧願います。

議会費全体の予算は2億2,100万7,000円で、前年度と比較して、2,207万9,000円の増額となっております。主な増額理由として、令和6年度の議員報酬及び議員期末手当などは、議員20名での積算になっておりました。令和7年度は22名での積算となっております。また、正規職員、常勤職員についても、令和6年度は5人、令和7年度は6人、1名増で、給料、期末勤勉手当、共済組合事業主負担金などを積算しております。議会費の増額のほとんどが人件費に係るものでございます。事業ごとの節について御説明いたします。

議会費、1節報酬は806万7,000円の増額で、議員2名分の報酬が増額となっているものでございます。2節給料、3節職員手当等は、令和6年度と比較して、常勤職員1名増での積算になっているものでございます。4節共済費の議員共済給付費負担金は、議員2名増分22万3,000円の増額によるものでございます。また、常勤職員についても、1名増分の共済組合事業費負担金182万9000円の増額によるものでございます。7節報償費から18節負担金補助及び交付金までは、主に前年度実績に応じた予算額となっております。増減のある節のみ説明いたします。8節旅費については、議員が2名増えた分の費用弁償の増額。議長の旅費として、全国議長会研究フォーラムが、令和7年度は、開催地が札幌市ということで、その分の増額。議員研修旅費も、議員2名が増えた分を増額したものでございます。10節需用費については、新規になりますが、議場の音響設備が更新時期に来ているということで、修繕料の増額によるものになります。12節委託料でございますが、予算額は前年度と変わってございません。委託料の4段目、研修会講師派遣業務委託料ですが、7年度も長内氏とのアドバイザー契約を想定しております。同じ講師の研修を受け続けることのほうが連動性であったり、宮古市議会の課題などを明確にしてもらうなど、メリットが多いというふうに考えているところでございます。契約内容は、年2回の議員研修と、何か事案が発生した場合に、リモート等で助言・指導を受けられる内容にしたいと考えてございます。18節負担金補助及び交付金は39万2,000円の増額です。これは政務活動費並びに市議会議員共済会事務費負担金において、議員2名分の増額などになります。続いて、オンライン会議システム運用事業においては、11節役務費のタブレット通信料ですが、これも議員2名分の増額分となっております。以上になります。よろしくお願いいたします。

○議長(橋本久夫君)

説明が終わりました。

この件について何か質問があれば、挙手を願います。

田中議員。

○20番（田中尚君）

今説明をいただきました事業の中で、これは一方で法の義務づけによりまして会議録というものは作成しなきゃいけないということであります。しかしこれは大分前にそういう法的な規定がありまして、現在はかなりデジタルトランスフォーメーションと言われる時代の中で、大変その辺の何といいますか、保存方法、あるいは文字起こし等々ですね、もう比較にならないくらい発達、技術的な更新が見られると思いますが、そういう中で、この会議録の作成システム委託料という在り方なんですけれども、これについてはそういうその後の技術革新を踏まえてですね、今のままで本当にいいのだろうかという費用対効果も含めてなんですが、これは我々議員サイドからチェックする必要がありますし、一方におきましては、事務局のほうの中でも、例えばこういうことを採用することによって、職員の言わば採用抑制につながるとというのが従来の理解だったと私は理解してるんですけども、私はここはですね、やっぱりこれから大事なやっぱり情報ももちろん大事なんですが、それを使ってやっぱり地域が元気になる、議会が身近な住民にとって存在になる。そのためにこの会議録の言わば作成の在り方をどうすべきかということは、我々の分野でもあるんですけども、一方においては事務局の役割はですね、我々非常勤の議員の活動をしっかりサポートするのが、事務局の役割だというふうに私は理解をしております。そういうことを考えたときに、この職員、昨年6、それから、今年度も6という説明だったんですが、この職員のですね、在り方と、言わばその実務にも関わるわけでありましてけれども、昔は会議録作成のためには速記員も採用していた時代がございます。今は全部委託で済むわけでありまして。しかし一方においては技術を使いますと、テープで自動翻訳も出ておりますよね。ここは非常に我々の議会にとって大事な部分だと思いますし、少なくとも我々が議論したことがしっかり検証できる、それも活字で検証できる、その源は私は会議録だと理解してるんですが、これは現時点ではどれぐらいのスパンで、例えば常任委員会の会議を行った際にですね、どんなふうなやりとりだったろうということを確認できるには、どれぐらいの期間を今現状用意しているのか、今年度はそれがさらにですね、改善する見込みなのかどうなのかということについて、最後の部分について伺います。会議録作成にかかる期間とそれを使う我々議会、つまりですよ、何回も同じこと聞くなということもあるわけでありまして。したがってしっかりと委員会でのやりとり、さらには、私は委員会傍聴してなかった、こういうこともできるだけ、そういうことがないようにしていくのが我々議会サイドの務めだろうと思います。一番いいのは傍聴なんですけれどもいろんな事情で、傍聴出来ないこともあります。だとするなら、そのために会議録があるというのが私の理解ですので、この会議録が文字どおり効果的に使えるようにですね、私はこの問題については各課にわたって出ますので、各課じゃないか過去か、そういうことについてのみ伺います。

○議長（橋本久夫君）

よろしいですか。刈屋次長。

○議会事務局次長（刈屋 巧君）

お答えいたします。

会議録システムなんですけど、議場の中で行われている本会議について委託をしております、文字起こしをしていただいております。作成に約3か月かかってホームページ等に載せているという状況であります。もう一つ、各常任委員会の会議録につきましては、職員、各担当がですね、作成しております。そちらにかかる日数はそれぞれの担当ごとに異なるんですが、約1か月ぐらいで作成しているかなと思います。あとは、急いで要望があれば、その都度その部分を急いで、文字起こししているというような現状になっております。以上です。

○議長（橋本久夫君）



田中議員。

○20番（田中尚君）

私たちは、通年会期制を採用しておりまして、目指しておりますのは、常任委員会中心主義の活動ということを目標に掲げております。そうしますと常任委員会においてばらつきあるわけでありまして、どういうふうなやっぱり委員会活動するかということは即ですね、現状では、事務局職員の皆さん方の実務的な作業がですね、もう増えるだけの話になるということです、ここは先ほど会議録の作成には大体3か月ぐらいかかるというお答えいただきました。一方、常任委員会の言わば会議録の作成は、職員の皆さんが、音訳機といいますか、会議録作成システムをですね、採用することによって職員の皆さんが、言わばもう文字起こしも含めて、文字起こしも必要だという私理解なんですけど出てきますんで、その文言を整理をしてですね、そして次の委員会活動に備えるっていうふうな流れだというお答えであります、そうしますと、今の職員の体制がですね、今のままで本当にいいのかどうなのかということは、事務局の中ではそういうふうな議論があったのかなかったのかについて伺います。

○議長（橋本久夫君）

前田事務局長。

○議会事務局長（前田正浩君）

事務局ではそういう話し合いはございません。

○議長（橋本久夫君）

田中議員。

○20番（田中尚君）

本会議の会議記録というのはなかなか見る機会もないと思いますし、この間モニター会議で出た住民の側からの要望によりますとですね、できるだけリアルタイムでいつでも見れるようにしてほしいという要望が出ました。確かに本会議のリアル中継は見れるんですけども、それが終わった後、録画を見るまでにですね、結構時間がかかるという思いがありますし、私もそう感じたことがあります、この点についてはどうでしょうか。改善の見込みがあるのかないのか伺います。

○議長（橋本久夫君）

刈屋次長。

○議会事務局次長（刈屋 巧君）

お答えいたします。

今、インターネット中継、録画の部分につきましては、業者のほうに委託しておりまして、5日から1週間程度でアップされているかなと思っております。それをちょっと早めるというのは、今のところ委託に出している状況ですので、難しいのかなと思っております。以上です。

○議長（橋本久夫君）

田中議員。

○20番（田中尚君）

これは例えばその業者に委託をしないと、そういう言わばその方法、放送がですね、実現出来ないということなのか、あるいは、議会事務局でそれに達者な方がいいですか、通じた職員を採用することによってですね、例えば2日後には例えば見れるとか、極端な話が、どういう情報通信機器を使うかということにもよると思うんで

すけども、私は研究する余地があるのかなと思っておりますので、これは私の意見で、いや残念ながら田中議員のおっしゃるような、そういう状況にはございませんよというのであれば、私引き下がりますけども、大いに可能性があるっていうのは私の思い込みですので、その点ですね、ぜひ検討していただくよう要望申し上げます。

○議長（橋本久夫君）

落合議員。

○18番（落合久三君）

冒頭、局長のほうからは、事務局の職員前年、令和6年5人から、今回は1人増の6人っていうふうにたしか言ったと思うんですが、確認なんですが、7年度は、常勤の職員は6人を考えての予算だというふうに言ったことなんでそうだと思うんですが、確認です。

○議長（橋本久夫君）

前田事務局長。

○議会事務局長（前田正浩君）

令和7年度は6人で積算をしてございます。ただ、人件費の積算は、総務課で予算編成時の人数で機械的に積算しているものだというふうに思っております。そのため、予算と人事異動は連動してるわけじゃないということとは、理解してもらいたいと思います。

○議長（橋本久夫君）

落合議員。

○18番（落合久三君）

そこで6年度が常勤者5人、今回は6人を想定していると。非常にいいことだと思うんですが、これは、議会事務局サイドからそういう要請をしている、見込みが、そういうことが考えられるんでそうしたのか、希望的な観測でやったのか、それとも、全体としてやっぱり議会の事務局体制強化という意味で、市長部局からもそういう意向が働いているために、6人というふうになったのか、結論的に6人体制っていうのは非常に大歓迎で、そうあるべきだというふうに常々、同僚議員も思っていた点なんでね、聞いているんですが、この6人でいきっていくっていうのは、事務局の側からの要望でしょうか。

○議長（橋本久夫君）

前田事務局長。

○議会事務局長（前田正浩君）

毎年11月編成前に、総務課とのヒアリングがあります。人員の関係です。1人でも2人でも増やしたいのはやまやまですけども、現状維持したいというのがまず私の要望でございましたし、この6人を維持していきたいという強い要望で7年度の予算がそういうことになってるというふうに思っております。

○議長（橋本久夫君）

よろしいですか。

西村議員。

○11番（西村昭二君）

私はですね先ほどの田中議員と同じ質問になりますけども少し違った角度から。委託料の要は議会中継配信業務についてなんですけれども、これも先ほど田中議員、議会運営委員会の委員長さんという立場でも、この間の

モニター会議での市民からの御意見というところでいろいろありましたけれども、リアルタイムで本会議を中継を今していただいております。そして、そのタイムラグが発生し、そして本会議のみ、録画中継をするという流れであります。今年度のどの会議だったかちょっと忘れましたが私もよく言ってるんですが、要は、ユーチューブの配信というところを宮古市議会も取り入れるべきだと。なぜならば、ユーチューブであれば、ある程度無料でというか、低コストで動画を配信できるし、もちろんリアルタイムでも出来ます。各常任委員会もできるだろうということもあって前田局長のほうからは12月をめどに、そういうね、ユーチューブの導入を考えているという発言もあったと私は記憶しております。ちょっと新年度の予算を見てですね、中継の157万8,000円というのは、高いか安いかなと思ったらちょっと分かりませんが、私はこういうものをユーチューブのようなものに切替えてですね、市内の例えば事業者で、委託を受けてくれるようなところもあるかと思うんですけども、そのような検討というのはですね、局長も発言をしたということもありますので、新年度に向けてそういった議論があったのかっていうところもお伺いしたいと思います。

○議長（橋本久夫君）

前田事務局長。

○議会事務局長（前田正浩君）

ユーチューブも含めてですね、私個人的には今年度の、去年の9月ぐらいからスタートさせたいという思いがありましたけどもなかなか出来ず本当に申し訳なく思っております。ただこの前、議会運営委員会の田中委員長とも話をしたんですけども、次年度についてはですね、その辺をユーチューブも含めて、またシステムを含めて、費用対効果も含めて議論をしていきたいなと思います。いろんな角度から、今年度出来なかった部分をですね新年度については、皆さんと意見を交わしながら、予算が必要であればですね、それは補正でも対応できるというふうに思ってますんで、まず議論が大事ななというふうに思ってますんでよろしくお願ひしたいと思います。

○議長（橋本久夫君）

西村議員。

○11番（西村昭二君）

はい、分かりました。これは私も議運のメンバーで、本来であれば、メンバーのほうから、委員長、副委員長のほうに打診をしてですね、どうなってるんだろうか、これを議論しましょうという流れをしていくことが必要だったかと思います。今のこの配信がですね私は決して便利なものではないとは思っております。やはりユーチューブのように、要は視聴者がいつでも自分のタイミングで本会議でも委員会でも見れるという、そういったオープンなところは、私は必要だと思います。あとは先ほども田中議員のほうからありましたけど、要は議事録の問題もユーチューブですと、非常に操作しやすく視聴もしやすいので、活字で読むよりは動画をそのまま見るというのも非常に便利だと思いますので、何とか新年度はですね、これは議会運営委員会の田中委員長にお願いになるかもしれませんが、議論を深めてなるべく全ての常任委員会等々も配信できるように、そして市民にですね、オープン化できるように取り組んでいきたいというのを、議会事務局と我々と協力してやっていきたいということで、私の意見として終わらせていただきます。

○議長（橋本久夫君）

白石議員。

○9番（白石雅一君）

1点、議会運営委員会の話も必要なのかなというふうには思うんですけども、今回、予算に関する説明資料

が、こういうふうにファイルで皆さんの御手元に配られる形になりましたが、印刷製本費についてお伺いしたいんですけども、会議録のお話出てましたが、現在冊子でそちらほうは作ってますよね。それもこういった形でファイルにするとか、もしくはデータにさせていただくとか、そういった形ができれば、印刷製本費、もっと減ると思いますし、あとは運搬費ですね、そこも今上がってますので、そういった観点からもですね、次、ペーパーレス化していくものっていうのを考えていかなければいけないのかなというふうに思うんですが、会議録については、ペーパーレス化っていうのは可能なんですかね。どうでしょうか。

○議長（橋本久夫君）

可能かどうか。刈屋次長。

○議会事務局次長（刈屋 巧君）

すいません、時間かかって申し訳ないです。

本会議のほうにつきましては、議事録の作成のほうの委託費の中に含まれているので、その分の印刷製本費はかかっておりませんでした。これまで常任委員会のほうの会議録についてはそれぞれの担当が作ってたんですが、それは紙に起こしてたんですけども、1月からの庁内の電子決裁に伴って、今そこはペーパーレスで、データで残すような形になっておりました。以上です。

○議長（橋本久夫君）

前田事務局長。

○議会事務局長（前田正浩君）

需用費の印刷製本費661万1,000円ですけども、これは議会だよりの印刷代になりますんで。

○議長（橋本久夫君）

よろしいですか。はい。

ほかございませんか。

ないようでございますので、この件は、これで終わります。

では、予定していた説明を全て終了いたしました。

その他に移ります。まず最初に皆さんのほうから何かございませんか。ないですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（橋本久夫君）

はい、では、事務局のほうからお願いいたします。

前田事務局長。

○議会事務局長（前田正浩君）

1点だけ連絡いたします。

3月議会初日に説明のある令和7年度経営方針、令和7年度宮古市教育行政方針について、2月10日、来週の月曜日に資料をもらえることになっておりましたが、当局の配慮でですね、本日の午後に、皆さんのタブレットに配信いたしますので、一般質問の参考としてください。ただ締切りについては、来週金曜日、14日は変わりありません。今日の午後に配信いたしますので、よろしくお願いします。そして、早めに一般質問の準備をしていただき、何か相談があればですね、早めに相談をしていただきたいと思います。以上です。

○議長（橋本久夫君）

よろしいですか。

ほかは、その他ほかないですね。大丈夫ですね。

それではこれもちまして議員全員協議会を閉会いたします。大変お疲れさまでした。

午前10時35分 閉会



宮古市議会議長 橋 本 久 夫